

登録コード:MH323300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	選択
科目名	スポーツと理学療法【20M以降】 Sports Physical Therapy			
担当教員	百瀬 公人			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	理学療法学専攻/ 3 年 後期(後半) 月曜・ 1 時限 月曜・ 2 時限			
単位数、講義室	1 単位	保健学科運動療法実習室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		スポーツ障害、スポーツ外傷の予防と治療、そして、再発予防を目的とした理学療法の基本的な考え方と具体的な進め方について理解するとともに、基本的な評価・治療に関する技能を修得する。	
	MH25カリ・保健・理学, MH23カリ・保健・理学			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		スポーツ障害に対する対応を行うことができる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		スポーツ現場におけるエビデンスについて説明することができる・	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	本授業は、スポーツ選手におけるスポーツ外傷・障害の予防と治療を目的とした理学療法評価、治療、トレーニングに関する知識や技術、そして、再発予防を目的とした指導方法などについて学修します。 本授業は、1年次の解剖学、生理学、病理学、運動学、2年次の整形外科学、の知識を前提とし、3年次の筋骨格系の理学療法と相補的に学びます。また、4年次の臨床実習における重要な基礎知識となります。 本授業は、担当教員の医療機関やスポーツ現場における理学療法士としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第 1 回 (11月26日) スポーツ理学療法の総論・機能評価と徒手療法 第 2 回 (11月30日) 障害予防・パラスポーツ(松永先生) 第 3 回 (12月 7日) スポーツ動作：走・投・ジャンプ・着地・切り返し・泳 第 4 回 (12月14日) スポーツによる内科的障害と重篤な外傷とその対処法 第 5 回 (12月21日) スポーツ理学療法：肩・肘・腰 第 6 回 (1月 4日) スポーツ理学療法：股・大腿・膝・足・足部 第 7 回 (1月18日) パラスポーツ・授業アンケート 第 8 回 (1月25日) 試験			
授業の進め方	講義、実技演習、討論を通して、スポーツ理学療法の概要と実際について学んでいきます。 実技演習では、身体を動かす課題も多いので、運動しやすい服装で授業に臨んでください。			
テキスト、教材、参考書	授業の中で紹介します。			
成績評価の方法	毎回の講義中の小テスト30%、期末試験40%、課題30%を総合して判定します。 毎回行う小テストは基本的知識の習得についての評価を行い、課題や期末試験ではそれらの基本的知識をもとに応用する応用問題にて学習の到達を評価します。			
成績評価の基準	小テスト、課題、期末試験の結果をもとに、次の基準で評価します。 達成目標に関連した設問に対する選択式解答の正誤だけでなく、記述式解答における用語の適切さ、説明内容の範囲の広さや詳細さ、説明内容の論理的な妥当性などを指標とし、授業で説明した範囲における最低限の解答内容であれば「水準にある」、やや詳細な解答内容であれば「やや上にある」、十分に詳細な解答内容であれば「かなり上にある」、授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な解答内容であれば「卓越している」と判定します。 以上の判定基準に基づいた採点の結果、以下のように評価します。 90～100点：秀 80～89点：優 70～79点：良 60～69点：可 60点未満：不可			
事前事後学習の内容	【事前学習について】 毎回、授業の終わりに、次回までに調べてくるべき内容について説明を行います。 【事後学習について】 毎回、授業のはじめに、前回の授業の要点について質問を行いますので、自分の言葉で端			

事前事後学習の内容	的に分かりやすく説明できるように準備して授業に臨んでください。 また、実技についても復習を行いますので、学生同士で継続的に練習を行うようにしてください。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（4時間×7.5回）+ 自己学習時間15時間（2時間×7.5回）= 45時間
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	機能解剖学、運動学、整形外科学、そして、運動器疾患の理学療法の復習と連動させながら学修を進めてください。 質問・相談への対応：百瀬 公人 オフィスアワーとメールアドレス： 研究室は南校舎4階です。月曜日12時～13時、kmomose@shinshu-u.ac.jp